

令和2年12月2日

福津市議会

議長 江上 隆行 様

議会広報調査特別委員会

委員長 蒲生 守

議会広報調査特別委員会報告書

平成31年第1回福津市議会臨時会において設置された議会広報調査特別委員会の活動について、下記のとおり報告いたします。

記

1. 調査事項

議会広報を市民に分かりやすく紹介し、親しみやすく手に取ってもらえる紙面づくりに努めるため、以下の点について検討・変更を行った。

- ① 表紙、タイトルデザイン
- ② 議会ホームページとの連携
- ③ 見やすいレイアウト
- ④ わかりやすい一般質問、総括質疑
- ⑤ 親しみやすいクイズ等の導入
- ⑥ 福津市古墳キャラクターふんちゃんの使用

2. 発行号および発行日

- (1) 第56号（12月定例会・2月臨時会／平成31年2月15日発行）
- (2) 第57号（2月臨時会・3月定例会／平成31年5月15日発行）
- (3) 第58号（6月定例会／令和元年8月1日発行）
- (4) 第59号（7月臨時会・9月定例会／令和元年11月1日発行）
- (5) 第60号（12月定例会／令和2年2月1日発行）
- (6) 第61号（3月定例会／令和2年5月15日発行）
- (7) 第62号（5月臨時会・6月定例会／令和2年8月15日発行）
- (8) 第63号（9月定例会／令和2年11月1日発行）
- (9) 第64号（12月定例会／令和3年2月1日発行予定）

3. 発行号における変更点

議会広報調査特別委員会では2年間でいろいろな角度からの研究・変更を行い、当初の目標達成のために紙面作成を行った。ここからは各号の変更点を紹介する。

(1) 第57号(2月臨時会・3月定例会／平成31年5月15日発行)

議会だよりを広報ふくつに折り込むことになったため、各議員からの一般質問原稿提出までの期間を短縮した。そのために各議員に渡す一般質問粗原稿を業者作成のものから議会事務局が即日作成するものに変更した。また、音声データの配布を検討し、タブレットを導入する令和元年12月定例会から配布開始することにした。

(2) 第58号(6月定例会／令和元年8月1日発行)

議会だよりの表紙について、写真やイラストの導入を検討した。今号の表紙は子どもの写真をテーマにすることにし、裏表紙にはドローンを使用した空撮写真を採用した。

一般質問の大見出しにおいて、質問・答弁の表記がないためわかりにくい点があり、それぞれ表記することにした。

(3) 第59号(7月臨時会・9月定例会／令和元年11月1日発行)

前号を振り返り、表紙に季節感を出すには編集時期と発行時期がずれるため写真では難しいとの判断に至った。また、子どもをテーマにする場合、写真では求める構図を捉えることが困難であるため、「自然に囲まれた幼子と年配者の心温まる情景」をテーマに市民に表紙絵作成を依頼した。

一般質問の議員写真を臨場感あるものに変更するため、各議員の登壇写真を採用。夏と冬スタイルの写真をそれぞれ使用することにした。

特集ページの写真を大胆に大きく掲載し、目を引くレイアウトに変更した。

(4) 第60号(12月定例会／令和2年2月1日発行)

表記の仕方を再確認し、ひらがな、英文字、数字の表記を統一した。

表紙絵を募集するため、募集要項を作成し、裏表紙に掲載。対象者は1年間を通して作品を提供できる市民。募集内容は市内の特色ある季節の景色やイベントを背景に、「世代をつなぐ」をテーマに老若男女を描いた作品。採用作品は第61号に掲載。選考は議会広報調査特別委員会にて行う。

(5) 第61号(3月定例会、令和2年5月15日発行)

第61号から本格的にリニューアルを行った。総括質疑と一般質問の原稿様式を変更した。変更点は以下のとおりである。

(総括質疑)

- ・大見出しを廃止。質疑・答弁を含めて 540 文字としたため、実質 40 文字削減した。
 - ・質疑は通告事項に則した主旨を 30 文字以内で、2 項目まで記載した。
 - ・答弁は第 1 答弁から第 3 答弁までをまとめて記載した。
- (一般質問)
- ・本文文字数を 540 文字から 480 文字に変更し、60 文字削減した。
 - ・一般質問目次を廃止した。
 - ・原稿に記載していない質問の主旨を文末の【その他の質問】欄に箇条書きで記載した。

第 60 号で募集した表紙絵の応募が 13 件あり、選考を行った。以下の基準で議会広報調査特別委員会の各委員が採点し、上位 3 件を決定。最終選考は議長が行った。また、裏表紙に全応募作品と応募に対するお礼を掲載した。

(選考基準)

1. 議会広報紙として中立な絵であるか
2. 手に取りたくなるような魅力的な表紙デザインとなっているか
3. 市内の特色ある季節の風景やイベントが入っているか
4. 「世代をつなぐ」をテーマに老若男女を描いた絵になっているか
5. 独自性のある工夫を凝らした絵になっているか

親しみやすいタイトルデザインを検討し、複数の候補から選定した。子どもにも読めるよう「ぎかいだより」とひらがな表記を採用。また、ふんちゃんクイズを掲載することで、子どもにも議会だよりを手にとってもらえるよう考慮した。「その後どうなった？」のコーナーでは、過去の議会だよりに掲載された記事を取り上げ、その後の進捗状況を記載した。記事の内容が一目でわかるようにページ端に縦見出し、一般質問のページ上部に横見出しを付けた。

(6) 第 62 号 (5 月臨時会・6 月定例会、令和 2 年 8 月 15 日発行)

新型コロナの影響で一般質問の差し控え、所管事務調査の実施控えにより掲載記事が減少したため、福津市議会ガイドを 4 ページにわたり特集した。市民提供による挿絵を採用して独自の議会ガイドを作成した。

表紙絵については、コロナ禍の市民を元気づけるため納涼花火大会の絵とし、裏表紙については、唐津街道畦町マップに写真などを挿入して紹介した。

(7) 第 63 号 (9 月定例会、令和 2 年 11 月 1 日発行)

表紙絵については、コスモスに囲まれた世界遺産新原・奴山古墳群を馬車

で散策する絵とし、裏表紙については、世界遺産新原・奴山古墳群のマップに写真などを挿入して紹介した。

一般質問欄にQRコードを付けることを検討した。

4. 議会広報調査特別委員会の取り組みについて

議会だよりは定例会毎に発行し、第63号まで発行を行ってきた。平成31年2月に委員の改正が行われ、第57号より本格的に新体制のもとでの作成を行った。

市民に分かりやすく、手に取ってもらえる議会だよりを目指して、試行錯誤や新たな挑戦を繰り返してきた。今年度は、新型コロナの影響で通常編集作業ができないという事態が発生したが、ICTを活用してオンライン会議を行うなど編集作業が途切れることなく、委員らを中心に議会だより作成に取り組んだ。

また、議会中継・録画配信システムの更新により12月定例会からスマートフォンやタブレットでも視聴可能になったため、一般質問・総括質疑欄にQRコードを掲載し、議会だよりと議会ホームページとの連携を図る予定である。